

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |            |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称     | 一般病棟                  | 階数     | 地上7階       |
| 建設地      | 京都府舞鶴市字行永             | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 第一種中層住居地域、法第22条第1項    | 平均居住人員 | 535人       |
| 気候区分     |                       | 年間使用時間 | 8,760時間/年  |
| 建物用途     | 病院                    | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2015年9月 0.0           | 評価の実施日 | 2013年11月1日 |
| 敷地面積     | 53,118 m <sup>2</sup> | 作成者    | 水野史規       |
| 建築面積     | 2,392 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2013年11月1日 |
| 延床面積     | 13,149 m <sup>2</sup> | 確認者    | 菅野尚教       |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

30%: ★☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 84%
- ③上記+②以外の: 84%
- ④上記+: 84%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項    |   |
|---------------|---|
| 総合            | 多数の人が利用する病院として満たすべき環境や機能に配慮して設計を行った。                    |
| その他           | 0   |
| Q1 室内環境       | 遮音等級の高い建具で外部騒音を遮断するとともに、F☆☆☆☆建材を採用し、化学汚染物質の放散を抑制した。     |
| Q2 サービス性能     | 病室1床あたりの面積を多くとり、快適な内部空間を確保した。また免震装置を導入し、建物の安全性・信頼性を高めた。 |
| Q3 室外環境 (敷地内) | 屋上の設備機器置場は目隠しルーバーで覆い、低層部は地域の歴史的建築物の素材としてタイル貼りを採用した。     |
| LR1 エネルギー     | 再生可能エネルギーの活用として屋上に太陽光パネルを設置した。                          |
| LR2 資源・マテリアル  | 構造部にリサイクル材を活用し、また内部には指定化学物質を含有しない材量を使用した。               |
| LR3 敷地外環境     | 卓越風を阻害しない建物形状とし地域への熱的な影響を低減した。また既存建物撤去後のスペースに駐車場を整備した。  |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される